

日本緑内障学会 緑内障啓発運動「ライトアップ in グリーン運動」について

日本緑内障学会が2015年より展開しております「ライトアップ in グリーン運動」は、世界緑内障週間（毎年3月上旬に世界で展開している国際的な緑内障啓発運動）に合わせて、日本各地のランドマークや医療機関などをグリーンにライトアップすることにより、広く国民の皆さまに緑内障についての理解を深めていただく活動です。昨年2021年は、国内外468カ所において実施されました。今年も3月6日(日)～12日(土)の期間、国内各地で展開されます。

- 「ライトアップ in グリーン運動」の詳細は、下記 URL よりご覧ください。  
[https://www.ryokunaisho.jp/light\\_up/](https://www.ryokunaisho.jp/light_up/)

緑内障は、日本における視覚障害となる原因疾患の第1位<sup>1)</sup>であり、初期～中期においては自覚症状が乏しいため気がつかないまま進行する場合もあり、継続的な治療が必要となる疾患です。また、進行の程度には個人差がありますが、40歳以上の20人に1人は罹患しているとの報告もされています<sup>2)</sup>。早期発見と継続的な治療、加えて定期的な健診など、疾患や治療に関する正しい知識の普及のための啓発運動がとても大切な疾患です。

1)Morizane et al, JJJO 2018      2)日本緑内障学会多治見疫学調査報告書, 2012

当社は、この「ライトアップ in グリーン運動」に賛同し、運動期間中（3月6日～12日）に本社ならびに全国の各支店において、夜間のライトアップを実施いたします。

2022年「ライトアップ in グリーン運動」ポスター



2021年 ライトアップの様子 (本社)

